

さいたま市民間提案制度・行政課題説明シート

<p>件名</p>	<p>自治会事務の効率化・省力化</p>
<p>概要</p>	<p>自治会運営に係る事務負担を軽減するため、自治会役員・加入者向けのシステムやツールのほか、ICT導入サポートに関する提案を求める。</p>
<p>解決したい課題</p>	<p><b>【現状】</b>                  地域のコミュニティを担う「自治会」は、例えば祭りの企画、ごみ収集所の管理や避難場所運営など、地域における様々な活動を行っている。                  自治会運営のためには、自治会総会資料の作成や会計処理、市などからの各種補助金・助成金の手続きが必要となるなど、役員の事務負担が大きくなっている。                  また、自治会の加入率は年々減少しており、若い世代の参加が求められているが、対面による会議開催や回覧板での情報伝達のみでは、生活スタイルが多様化するなか、特に働きながらの自治会参加には支障があり、加入率の向上は困難なものとなっている。</p> <p><b>【目指す姿】</b>                  誰もが使うようになってきた“スマホ”を活用し、広い世代が簡単に操作できるようなスマホアプリにより、自治会役員は「かんたん」に自治会運営を進めることができ、自治会メンバーは「かんたん」に情報を取得したり、気に入ったイベントに参加できるようになる。自治会に参加するのが「かんたん」になれば、今より多くの世代が自治会に参加するようになり、“スマホ”を介した地域コミュニティの活性化が図られる。</p>
<p>求める提案(例)</p>	<p>スマホアプリにより、次のようなことが実現する提案を求める。</p> <p>≪自治会役員≫                  自治会の総会資料や会員へのお知らせは、アプリのテンプレートを操作して、手間なく資料が作成できる。／役員の会議はチャットで進めるので、仕事の合間や夜間の参加も可能になる。                  ／自治会イベントで写真を撮ってアプリに保存してコメントを数行入力すれば、そのまま活動報告になる。／必要な消耗品はスマホから電子マネーで購入。すべてスマホで購入できれば、自動的に会計帳簿に記載され、年度末に自動で決算書類が作成できる。／補助金申請もアプリからの操作で完結する。</p> <p>≪自治会メンバー≫                  回覧板がアプリを経由して届く。／回覧板で回答していたイベントの出欠はアプリで行う。／会費は電子マネーで支払うことができるため、いつでも支払いができ、区長・班長になって訪問して会費を徴収する必要がない。</p>
<p>市が提供できるメリット</p>	<p>自治会メンバーが活用するアプリとなるので、狙った居住エリアにピンポイントに届く電子広告媒体としての利用が可能となる。</p>
<p>予算措置</p>	<p>未定（市の支出を伴う場合は原則公募となります）</p>

<p><b>留意点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の構成メンバーによる自治会活動をできるだけ維持しながら、若い世代の参加も促進するには、ICT技術を活用しつつ従来どおりの手法との併用を図るなど、異なる世代、異なる媒体によるスムーズなコミュニケーションの実現化がポイントとなると考える。</li> <li>・先行事例ではアプリの使用に費用負担があることから、今後、費用が発生しない形でのアプリの提供が望ましいと考える。</li> </ul>
<p><b>参考情報</b></p>	<p>先行事例「結ネット」  <a href="https://www.cpu-net.co.jp/product/yui-net/">https://www.cpu-net.co.jp/product/yui-net/</a></p>
<p><b>担当部署</b></p>	<p>市民局市民生活部コミュニティ推進課 ・ 浦和区役所区民生活部コミュニティ課</p>